

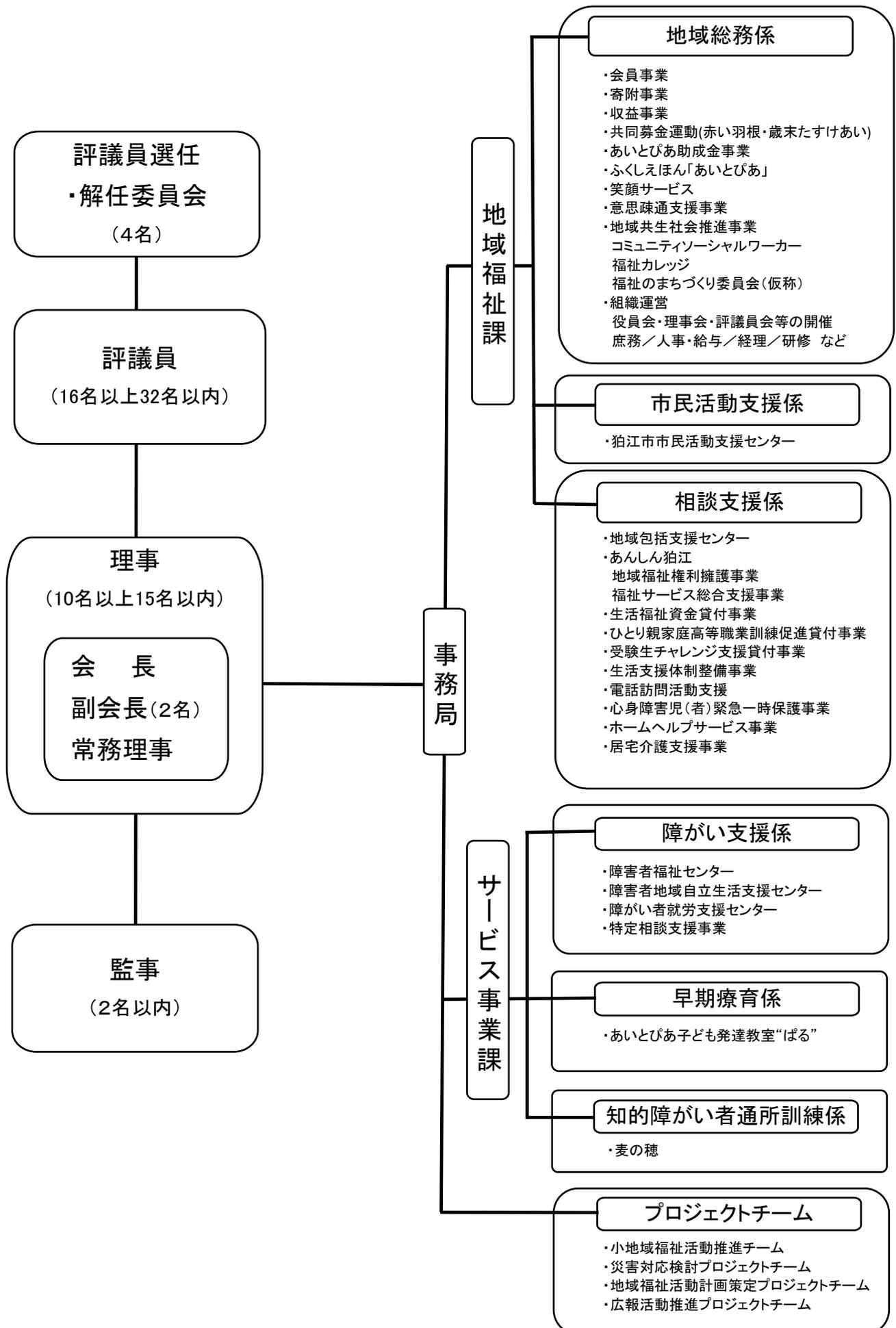
令和2年度
事業報告書

社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

■令和2年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会組織図	1
■令和2年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告	
総括	2
(重点事業)	
1 コミュニティソーシャルワーカーによる支援	3
2 福祉カレッジの開催	5
3 福祉のまちづくり委員会（仮称）の設置	7
■令和2年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告	
(地域福祉課地域総務係)	
会員事業	9
寄附事業	9
収益事業	9
共同募金運動	9
あいとびあ助成金事業	10
ふくしえほん「あいとびあ」	10
笑顔サービス	10
意思疎通支援事業	11
地域共生社会推進事業	12
理事会等の開催	13
情報発信	13
労働安全衛生関係	13
(地域福祉課市民活動支援係)	
市民活動支援センターこまえくぼ1234	13
(地域福祉課相談支援係)	
地域包括支援センター	16
あんしん狛江	16
生活福祉資金貸付事業	17
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	18
受験生チャレンジ支援貸付事業	18
生活支援体制整備事業	18
電話訪問活動支援	19
心身障害児（者）緊急一時保護事業	19
ホームヘルプサービス事業	19
居宅介護支援事業	19
(サービス事業課障がい支援係)	
障害者福祉センター	20
障害者地域自立生活支援センター サポート	20
障がい者就労支援センター サポート	21
特定相談支援事業	22
(サービス事業課早期療育係)	
あいとびあ子ども発達教室“ぼる”	23
(サービス事業課知的障がい者通所訓練係)	
生活介護事業 麦の穂	24
(プロジェクトチーム等)	
小地域福祉活動の推進	25
災害対応検討プロジェクトチーム	25
地域福祉活動計画の改訂	25
広報活動推進プロジェクトチーム	25
(その他)	
狛江市社会福祉法人連絡会への参画	26
※事業報告書は、定款第39条に定める「事業報告の附属明細書」の内容を含んでいます。	

令和2年度 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 組織図



令和2年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告

令和2年度基本方針

令和元年12月に厚生労働省「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参画・協働の推進に関する検討会」は、「最終とりまとめ」を公表しました。「最終とりまとめ」では、相談支援の縦割りや支える側・支えられる側という従来の関係を超え、人と人、人と社会がつながり支えあう関係が生まれるアプローチが求められていると報告されています。具体的な手法としては、課題解決を目指すアプローチと伴走型支援を通じてつながり続けるアプローチがあげられています。

そのような状況の中、狛江市社会福祉協議会では、令和2年度に地域福祉づくりの専任職員であるコミュニティソーシャルワーカーを、こまえ苑エリア（岩戸南、岩戸北、猪方、駒井町）へ配置します。平成30年度にあいとびあエリアにコミュニティソーシャルワーカーを配置して成果を上げた、個別相談から把握したひきこもりへの支援やひきこもり家族会等の地域支援をもとに、こまえ苑エリアで、より地域に密着した取組みを進めます。

また、福祉カレッジも継続して開催し、地域での課題解決に関わることができる人材を育成し、福祉のまちづくり委員会の準備会へつなげていきます。

■ 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、多くの地域活動が休止されました。当会においても多くの事業が休止や縮小を余儀なくされましたが、会議や講座等を一部オンラインによる非集合形式で開催するなど、「第3次地域福祉活動計画」に掲げた重点事業を中心に感染症予防対策を図りつつ取組みを進めた1年となりました。

1つめの重点事業のコミュニティソーシャルワーカーによる支援では、こまえ苑エリアに新たに担当職員を配置し、シニア向け地域情報誌の発行、学習支援マップの作成、シニアの困りごとへ障がいのある方が有償で支援する仕組みづくり、ランドセルのリユースの仕組みなど様々な地域支援、地域づくりを行いました。

2つめの重点事業の福祉カレッジの開催では、講義回数を少なくしたり、一部講義内容をオンラインで配信するなど感染予防対策を施して実施しましたが、受講生は大変意欲的であり、新たな地域人材を見出すことができました。

3つめの重点事業の福祉のまちづくり委員会（仮称）の設置では、これまでの福祉カレッジの修了生が一堂に参加する企画を実施し、基調講演と3つのエリアに分かれて地域診断のグループワークを行いました。その結果、こまえ苑エリアとこまえ正吉苑エリアでは、今後定期的にエリアミーティングを開催していくこととなりました。

また、長期化する感染症の影響により、減収、失業等で一時的に生活資金にお困りの世帯へ、生活再建に向けた支援として、緊急小口資金等の特例貸付を継続実施しました。

■重点事業

1 コミュニティソーシャルワーカーによる支援

配置3年目となった令和2年度は、コミュニティソーシャルワーカーを1名増員し、新たにこまえ苑エリア(岩戸北・岩戸南・猪方・駒井町)に配置しました。

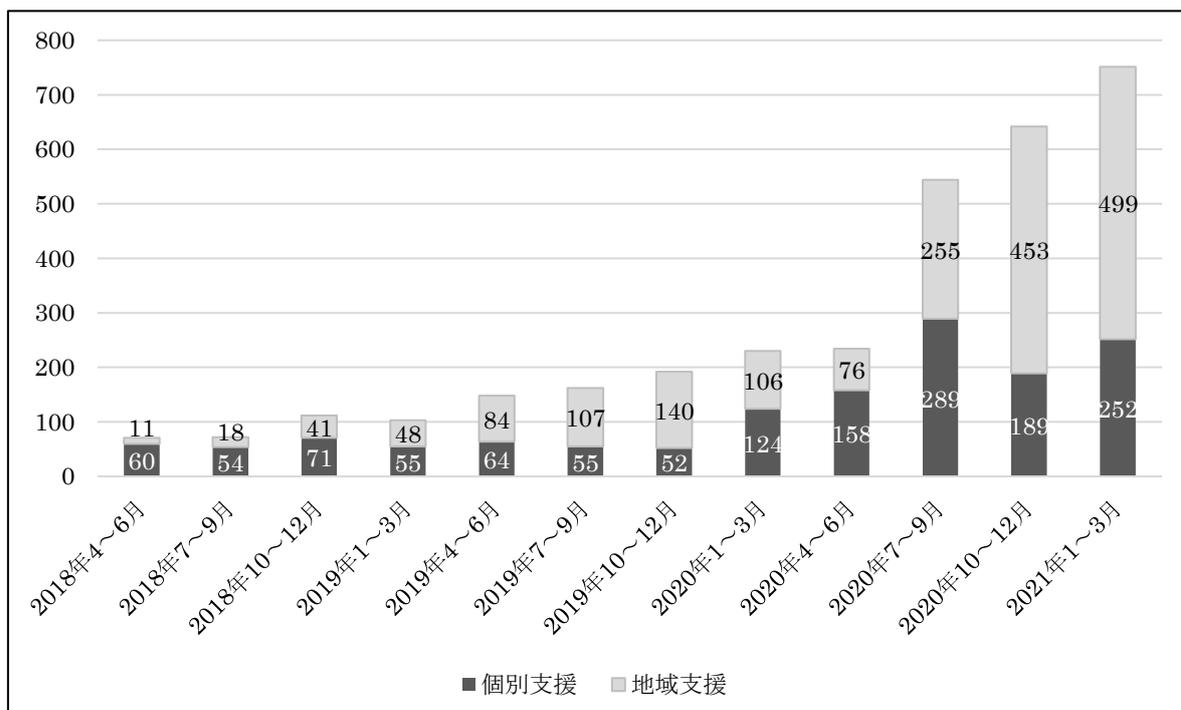
令和2年度の個別支援の相談対応実数は86名延べ888回(平成31年度は68名延べ294回)と大幅に増加しました。対象としては前年度同様に特にひきこもりや障がいの方への支援が多くなっています。相談対応時の連携先は、社会福祉協議会が最も多く、次に行政機関、地域包括支援センター、市民活動団体の順でした。

地域支援の相談対応実数は27件、延べ1283回(平成31年度は21件、延べ437回)と個別支援同様に大幅に増加しました。

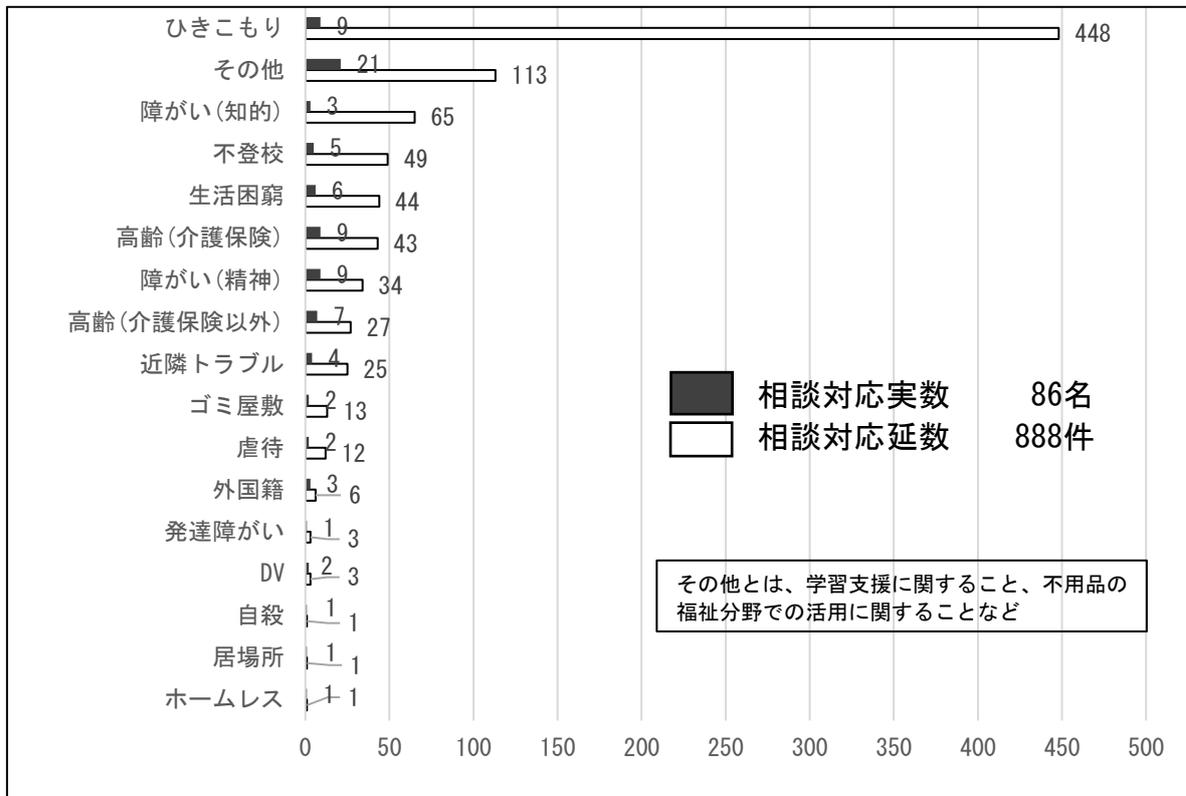
新たに配置したこまえ苑エリアでは、コロナ禍で閉じこもりがちになったシニアの方が増えているという現状から、地域包括支援センターこまえ苑と連携し地域情報誌「いこいの便り」を発行したり、高齢者が日常生活でちょっとした困りごとに幅広く対応できるサービスが限られているという課題から、障がい者が就労支援の一環で支援に取り組む「Care&Cure」の仕組みづくりを行いました。

その他、不要となった状態の良いランドセルを必要な方へとつなぐ仕組み「ランドセルバンク2021-22」を狛江市PTA連合会と連携して取り組んだり、地域の中で子どもが勉強できる場をまとめたマップを製作し発信しました。

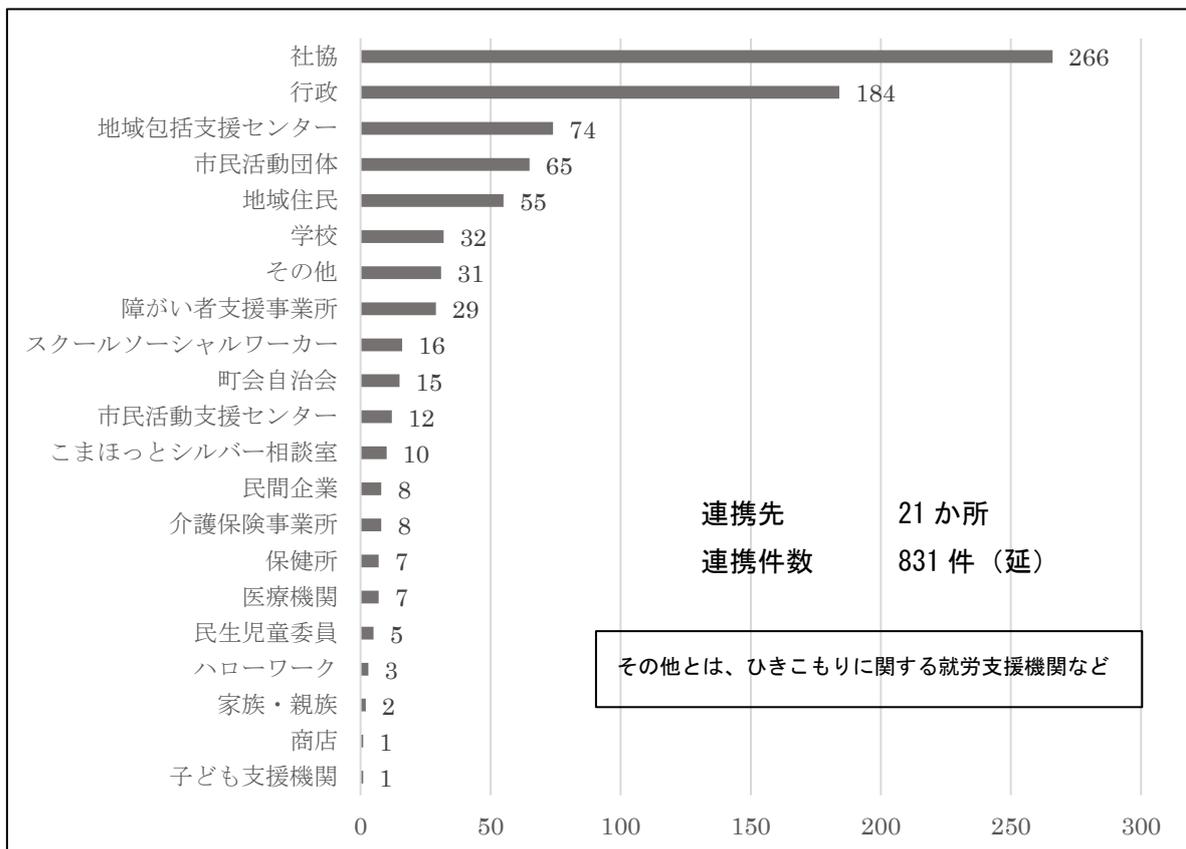
【個別支援(件)と地域支援(件)の割合の推移 ※2018年4月～ 3か月ごと】



【令和2年度の個別相談の内容別実数（名）と延数（件）】



【令和2年度の関係機関の連携先と連携件数（件）】



2 福祉カレッジの開催

令和2年度の福祉カレッジは、定員15名に対し16名の申し込みがあり、14名が修了しました。受講生の平均年齢は50.2歳で、最年少が33歳、最高齢が79歳でした。カリキュラムは、制度の概論を講義するような内容だけではなく、市民活動で活躍されている方や当事者の方を講師に、体験談なども踏まえた実践的なものとなりました。

今年度は平日の夜間ではなく土曜日の午後に開催し、その効果かこれまでで最も大きな反響があり早々に定員が埋まりました。

開催日数は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度の約半分の全6回としましたが、1回あたりの講義時間は2時間から3時間に増やしました。

残念ながら感染防止対策としてフィールドワークは実施することができず、また緊急事態宣言期間中の一部講義が映像配信となってしまい、受講生同士の繋がりのお機を十分確保することができませんでした。3/13(土)には1～3期の修了生が一堂に会する修了生企画 One meet (ワン・ミート)を初開催し、活発な意見交換を行うことができました。

【福祉カレッジ2020カリキュラム】

回	日にち	内容	講師
1	11月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・これからの地域福祉とまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉カレッジ修了生 原田 治美氏(1期生)、富田 美津子氏(2期生) ・狛江市社会福祉協議会 副会長 市川 衛氏 ・法政大学 教授 宮城 孝氏
2	11月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の暮らしの変化や地域活動について 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターこまえ苑 センター長 小川 智之氏 ・介護経験者 ・特定非営利活動法人狛江共生の家 理事長 河西 信美氏
3	12月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の現状 ・生活困窮者への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江市子ども家庭支援センター センター長 日下 美恵子氏 ・特定非営利活動法人フードバンク狛江 理事長 田中 妙子氏 ・ごはん+居場所おかえり 代表 宮川 裕子氏
4	12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方の暮らしや仕事 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人もくば会八王子地域生活支援室高尾 高江洲 幸男氏 ・社会福祉法人足立邦栄会こまえ工房 濱 直人氏 ・特定非営利活動法人バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」皆川 梓氏

5	1月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用した多世代交流の居場所について ・ボランティア・市民活動について ・コミュニティソーシャルワーカーの役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・comarch 代表 梶川 朋氏 ・市民活動支援センターこまえくぼ 1234 斉藤 あや子 ・コミュニティソーシャルワーカー 野木 遼太
6	3月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 	

【福祉カレッジ 2020 の様子】



【修了後アンケートの結果より（抜粋）】

- ・福祉カレッジ受講前と受講後でご自身の中で変わった点について

変わった	7
どちらでもない	2
特に変わっていない	1

- ・「変わった」と答えた方は、どのような点で変化がありましたか

<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の講義が楽しみだった。前より視野も広がり、もっと勉強したいと感じた。 ・粕江のことをよく知ろうと考えるようになった。地域活動について関心が深まった。 ・社協や地域包括支援センターなどの機関の役割について理解が深まって、何かあれば相談してみたいと考えるようになった。 ・ボランティア活動に参加していきたい。 ・粕江市の現状を知ることができた。地元で働きたいというモチベーションが上がった。
--

- ・受講前に目的としていた(達成したい)ことについて、達成できましたか。

達成度(%)とその理由

80%	各分野について、バランスよく学ぶことができ良かった。他の受講生ともっと話したかったが、修了生企画でのフォローもあり、受講終了後のつながりもできそう。
70%	現状の様々な分野の取組みを知ることができた。また、既存の支援の中で、どんな課題があるかを考えるきっかけを持つことができた。
80%	自分に何ができるか、チャレンジしようと思った。
80%	介護環境に関することについては、広報などで得る情報以上のものを得ることができた。年齢や仕事、生活条件の異なる方を少ない機会であったが知り合うことができたのはありがたかった。
60%	地域を知る意味では100%だが、自分の求めるレベルには達していない。
40%	対面講座が少なくなってしまったのが残念。
80%	家族や自分への負担がそこまでなく、最後まで受講できた。
20%	カレッジの3か月間でいろいろと実施方法や期間の変更がありモチベーションが下がってしまった
100%	福祉を提供する側は、十分勉強になった。支援を必要とする側の声を少し聞いたかった。一番印象に残っているのは、高江洲氏の講義。狛江市を知るきっかけを与えてくれ、十分達成できた。
80%	狛江の現状について知ることはできたが、コロナにより後半は残念だった。来年度希望講座のみ追加受講ができると良い。

3 福祉のまちづくり委員会（仮称）の設置

福祉のまちづくり委員会の土台となる福祉カレッジ修了生企画 One meet(ワン・ミー ト)を3月13日に開催しました。参加者は19名で、東京ボランティア・市民活動センターの佐藤新哉氏による「できることからコツコツと！今から始める地域活動」をテーマとした基調講演の後、参加者が居住エリア別に分かれての交流と地域診断のグループワークを行いました。

地域診断では地域の特徴を語り合い、診断で把握したそれぞれの地域の強みを生かした取組みや、課題の改善につながる取組みなどの話にも至りました。

今後こまえ苑エリアとこまえ正吉苑エリアにおいては、定期的なエリア集会(福祉のまちづくり委員会準備会)を開催していく事となりました。取り組む内容によって福祉カレッジの修了生のみならず、関係者にも関わっていただきながら進めていく事をイメージしています。

なお、あいとびあエリアについては参加者数自体が少なかったため、個々でのつなが

りは継続しつつ、エリア集会としての動きとしては次年度以降を目指していきます。

福祉カレッジ修了生企画
One meet (ワン・ミート)
つながり、語り、盛り上がり、自分の地域(エリア)を考えよう！

●One meet (ワン・ミート)とは…
福祉カレッジ修了生を対象とした、新たなつながり、新たな発見を目的とした企画です。福祉カレッジでアンケートを行った際に、「どんな柏江市になったら良いか」を考え、実際に出了アイデアを取り組みとしてやってみてはどうか」とのご意見をいただきました。福祉のまちづくりを目指す当会としても、目標とともに新たな仕組みづくりを考えていきたいと思っております。当日は他の自治体における地域活動事例の紹介に加え、お住いの地域(エリア)の課題についても考えて頂きます。

開催日 | 令和3年3月13日(土)
開催場所 | あいとびあセンター 2階 研修室 ABC
開催時間 | 13:00~16:00 (12:45~受付開始)
持ち物 | 筆記用具(サインペン含む)、マスク

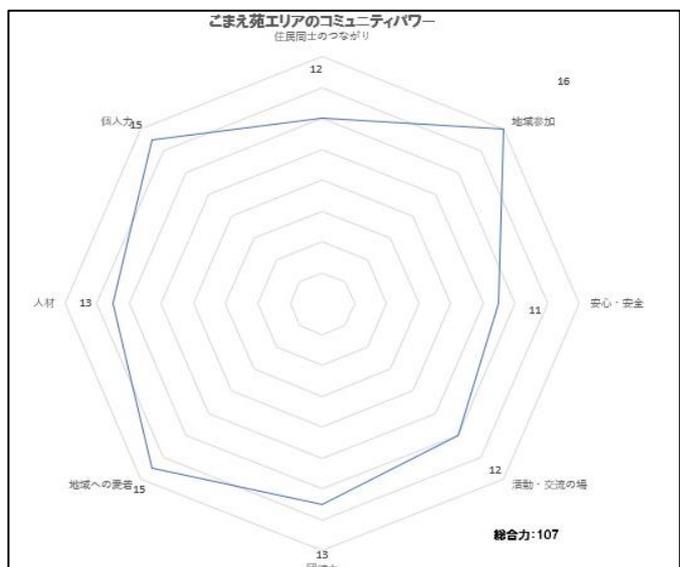
参加費 無料

第1部 | できることから「アタ」と今から始める地域活動
＜講師＞ 東京ボランティア・市民活動支援センター 佐藤 新哉氏

第2部 | エリア別のワーク、交流
・居住エリアのテーブルに分かれ、そのエリア(地域)を語り合い、今後について考えよう

※本開催場に関する注意事項
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、以下の点に留意し開催いたします。
●当日に検温を実施いたします。 ●こまめな換気を行うと共に、人と人との距離を確保します。
●参加者には、マスクの着用及び使い捨てマスクをお貸しします。 ●手洗いの徹底、会場にアルコール消毒液を設置します。
●参加者にはフェイスシールドの配布を予定しています。

【問い合わせ・申し込み先】
社会福祉法人 独江市社会福祉協議会
地域福祉課 地域総務係 地域共生社会推進事業担当
Tel. 03-7486-0313 Mail: csw@welfare.kerinet.org



グループワークで実施した地域診断
(コミュニティパワー)

One meet のチラシ

令和2年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止や縮小を余儀なくされました。また、一部の会議や講習会等では、書面やオンライン等による形式で実施しました。

課・係	事業内容	【 】は平成31年度実績
地域福祉課地域総務係		
会員事業		
①社会福祉協議会会員制度		
○会費収入	2,725,000円	【2,894,000円】
※1,000円単位で任意の増額あり		
・つつじ会員（1口 1,000円）	1,884件	【2,131件】
・いちよう会員（1口10,000円）	58件	【52件】
・さくら会員（1口 30,000円）	6件	【4件】
○会員増強月間の取組（8月）		
・協力委員による個別訪問の実施		
※主に会員募集チラシ及び振込用紙のポスティング		
・市内町会・自治会 PR用資材の回覧、ポスター掲示		
・社協だより184号での入会案内（振込用紙の添付）（8/2 25,000部）		
②会員制度協賛店事業		
○協賛店登録数	68店	【46店】
○協賛店紹介サイトの運用		
寄附事業		
○一般寄附金（物品寄附を含む）	36件 57,782,687円	【43件 429,474円】
○指定寄附金		
・あいとぴあ基金	2件 6,340円	【3件 7,064円】
・誕生日募金	3件 50,000円	【4件 32,222円】
・その他の指定寄附金収入	6件 35,000円	【18件 231,531円】
※あいとぴあ基金積立金累計額（令和3年3月末）98,933,343円【100,870,370円】		
収益事業		
①こまちゃんタオルハンカチの販売 24枚【38枚】 （クリーム7枚、ライトピンク10枚、ピンク7枚、ブルー0枚）		
②こまちゃんTシャツの販売 0枚【17枚】		
③社協だよりへの広告掲載 4枠【4枠】		
④ホームページへの広告掲載 1件【1件】		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
地域福祉の推進を目的とする「共同募金」の一環として次の運動を実施した。		
①赤い羽根共同募金運動（10/1～10/31）		
募金総額	316,919円	【891,572円】
※東京都共同募金会狛江地区協力会として実施		

課・係	事業内容	【 】は平成31年度実績
地域福祉課地域総務係		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
<p>街頭募金実施回数 0回【3回 7団体（86名）】</p> <p>②歳末たすけあい運動（12/1～12/31）</p> <p>募金総額 2,378,428円【2,858,597円】</p> <p>街頭募金実施回数 0回【2回 13団体（47名）】</p>		
あいとぴあ助成金事業		
<p><助成団体></p> <p>○施設・団体等</p> <p>NPO法人えるぶスペースえるぶ、NPO法人ハッピーライフフォーエバー</p> <p>狛江市登録手話通訳者研修会、SWF狛江支部</p> <p style="text-align: right;">計4団体 456,200円を助成 【11団体 761,000円】</p>		
ふくしえほん「あいとぴあ」		
<p>①ふくしえほん</p> <p>○ふくしえほん「あいとぴあ」の発行</p> <p>市内幼稚園・保育園に通う5歳児計675名に配付【661名】</p> <p>○ふくしえほん活用委員会 3回【4回】</p> <p>○ふくしえほん担当職員研修会 2回【3回】</p> <p>・第1回（10/21） 講義・体験「聞こえないことについて、手話体験」</p> <p style="padding-left: 40px;">講師：狛江手話サークル昼の部</p> <p>・第2回（1/13） 福祉教育研究園による研究報告</p> <p>○福祉教育研究園</p> <p>指定園 虹のひかり保育園</p> <p>②保育園・幼稚園との連携</p> <p>体験・見学・コーディネート等の相談 5件【16件】</p>		
笑顔サービス		
<p>①サービス実績等</p> <p>○利用会員登録数 256名【263名】</p> <p>○協力会員登録数 83名【98名】</p> <p>○新規利用相談件数 78件【94件】</p> <p>○サービス提供件数 3,848件【5,210件】</p> <p>○サービス提供時間 5,266時間【7,204時間】</p> <p>○笑顔のひろばの発行（会員向け広報紙） 4回【4回】</p> <p>②説明会・研修等</p> <p>○協力会員募集説明会 6回【7回】</p> <p>○協力会員新任研修 5回【8回】</p> <p>○協力会員現任研修 2回【2回】</p> <p>・「物のかたづけ方・手放し方」（10/26） 参加者 16名</p> <p style="padding-left: 40px;">講師 佐藤早苗氏（一般社団法人日本美そうじ健康協会）</p>		

地域福祉課地域総務係

笑顔サービス

- ・「5年後の自分に向けて、今から始める健康対策」 (11/6) 参加者 6名
 講師 有限会社ライフサポート
 健康運動指導士：佐藤岳人氏、管理栄養士：那須圭志郎氏

③事業の周知

- 協力会員募集ポスターの掲示・チラシの設置
 こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、イトーヨーカドー国領店
 OKストア中和泉店 7回【10回】
- 協力会員募集チラシ新聞折込の実施 (8/31) 1回【2回】
 (市内全域、世田谷区成城の一部 23,050部)
- 市内転入者へのチラシ配布 3,000部
- 公式ツイッターによる情報発信 1回【4回】

④活動状況把握

- 協力会員情報交換会 0回【2回】

<訪問型サービスB> ※市委託

サービス実績等

- 利用者登録数 7名【8名】
- 活動者登録数 83名【98名】
 ※笑顔サービス協力会員と重複
- 新規利用相談 (問合せ含む) 2件【3件】
- サービス提供件数 398件【418件】

意思疎通支援事業 ※市委託

①通訳者の派遣

- 派遣件数
 手話通訳 426件(内、事業内派遣 9件)【438件】
 要約筆記 18件(内、事業内派遣 6件)【19件】
- 登録通訳者
 手話通訳 28名【28名】
 要約筆記 31名【30名】
 (内、手書きのみ12名、PCのみ10名、手書き・PC両方9名)

②運営・スタッフ会議

- 手話運営委員会 6回【6回】
- 手話講習会スタッフ会議 3回【3回】
- 要約筆記運営委員会 5回【5回】
- 要約筆記講習会スタッフ会議 1回【4回】

③通訳者研修

- 手話通訳者研修会 6回【6回】
 - ・6/9 課題提出にて実施
 - ・7/20 あいとぴあセンター 講師 萩埜友美氏 (東京手話通訳等派遣センター)
 - ・9/11 狛江市防災センター 講師 北田美千代氏 (東京手話通訳等派遣センター)

地域福祉課地域総務係

意思疎通支援事業 ※市委託

- ・ 1/19 課題提出にて実施
- ・ 2/12 映像資料による自主学習を実施
- ・ 12/3 あいとぴあセンター 講師 田原直幸氏（東京手話通訳等派遣センター）
- 要約筆記者研修会 5回【5回】
 - ・ 8/8 あいとぴあセンター 講師 長尾康子氏（全国要約筆記問題研究会）
 - ・ 8/21 あいとぴあセンター 講師 大場美晴氏・里村徐子氏（全国文字通訳研究会）
 - ・ 12/12 オンライン開催 講師 三井恵玲奈氏（全国文字通訳研究会）
 - ・ 2/17 オンライン開催 講師 宇田二三子氏・宮田はるみ氏
 - ・ 3/6 あいとぴあセンター 講師 村上真理子・堀勝三（狛江要約筆記サークル「こまくさ」）

④通訳者養成講習

○手話講習会

- ・ 初級コース
 申込者 16名 修了生 0名【受講生19名 修了生18名】
- ・ 中級コース
 申込者 12名 修了生 0名【受講生13名 修了生12名】
- ・ 上級コース
 申込者 12名 修了生 0名【受講生11名 修了生9名】
- ・ 養成コース
 申込者 10名 修了生 0名【受講生9名 修了生9名】

○手話入門講座

全0回【5回】

- ・ 受講生 0名【17名】

○要約筆記講習会<パソコン要約筆記講習会>

- ・ 申込者 1名【受講生7名】

○要約筆記講習会フォローアップ研修<パソコン要約筆記>

- ・ 受講生 0名【6名】

地域共生社会推進事業 ※市委託

①コミュニティソーシャルワーカーの配置

- 個別支援 相談対応実数85名、相談対応延べ数 888回【68名 294回】
- 地域支援 相談対応実数28件、相談対応延べ数1283回【21件 437回】
- スーパービジョン 0回【4回】

②福祉カレッジの開催

- 日程 11/14～3/6 各回土曜 全6回 13時～16時
- 会場 あいとぴあセンター
- 内容 オリエンテーション、高齢、障がい、子ども、生活困窮、多世代交流など
 全10回の講座を実施（一部映像配信にて実施）
- 受講生 16名【15名】
- 修了生 14名【11名】

地域福祉課地域総務係

地域共生社会推進事業 ※市委託

③福祉のまちづくり委員会（仮称）の設置

○福祉のまちづくり委員会の土台となる福祉カレッジ修了生企画を3/13に開催し、19名が参加。こまえ苑エリア(岩戸北・岩戸南・猪方・駒井町)およびこまえ正吉苑エリア(和泉本町、東野川、西野川)において、今後定期的にエリアミーティングを定期開催する運びとなった。

理事会等の開催

○役員会	0回【1回】
○理事会	3回（内、書面開催1回）【3回】
○評議員会	3回（内、書面開催1回）【3回】
○監査	1回【1回】

情報発信

①ホームページの運用

アクセス数 69,976件【61,698件】

②ツイッターの運用

ツイッターフォロワー数（令和3年3月末） 426件【237件】

③広報紙「こまえ社協だより」の発行

新聞折込で4回（No183～186）1号当たりの発行部数 25,000部【25,000部/号】

労働安全衛生関係

○衛生委員会の開催 11回【11回】

○産業医 加藤一彦氏（かとうクリニック）

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234

①相談機能

○新規相談件数 258件（個人84件、団体174件） 【380件】

<内訳>

・新規活動相談	39件
・団体運営に関すること（助成金関係含む）	29件
・情報収集	68件
・情報発信	35件
・ボランティア・講師等の依頼、問合せ	24件
・寄付・寄贈	25件
・その他	38件

○専門相談

・専門相談会 2回【3回】 参加者 1団体2名
「NPO法人の困りごと個別相談会」（1/30、2/21）

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234

②拠点機能（市民及び市民活動団体への支援）

4/1～5/31まで臨時休館。6/1～3/31まで入館人数を20名に制限した。

○来館者数 3,031人 【5,780人】

○回収活動の推進

使用済みの切手を回収し市民活動の推進のために活用している。

・切手カフェ 全7回 参加者 延34名【延161名】

回収された使用済み切手を整理するボランティアを出入り自由のカフェ形式で実施

・おうちで切手ボランティア（3/1～3/31） 参加者 4名

○ボランティア保険・行事保険加入取りまとめ

・ボランティア保険加入件数 1,779件【2,045件】

・行事用保険加入件数 64件【248件】

○フリースペースの登録団体優先利用

・イベント利用 4件【13件】

・展示利用 1件【2件】

○登録団体・登録者数 団体 190団体 個人 98名【161団体 個人87名】

（内 社会貢献事業所登録 21件）

③情報収集・発信機能

○情報紙「えくぼ」（年10回、44～53号）の発行 各号3,800部発行 【各号3,800部】

・ボランティアによる協力（発送準備、配布）

○広報誌「こまえがお」（年2回、11～12号）の発行 各号30,000部（うち新聞折込み
約18,700部発行） 【各号30,000部】

○コマラジ番組出演での情報発信 ※令和2年度新規

・番組名：KOMAE AM フライデーアートサーカス（毎週金曜日8：00～11：00放送）

・番組内コーナー（狛江・生活情報コーナー）で市民活動団体を紹介

市民活動支援センター出演 5回

市民活動支援センター専門部会出演 1回

市民活動団体出演 10団体

○ホームページ・SNSの活用

・ホームページ管理 アクセス数 100,634件【82,819件】

・入力ボランティア 23名【16名】

・投稿サポーター 6名【9名】

・登録団体の記事投稿数 168件【185件】

④交流・人材養成・研修機能

○参加と協働市民推進フォーラム（狛江市市民参加と市民協働に関する審議会・狛江市共催）

「第5回狛江☆サミット～コロナ禍で考える新しい市民活動のカたち～（2/27）」10団体15名

○夏の体験ボランティア事業

・参加者数 0名【61名】

・プログラム数 0個【56個】

・受入団体数 0団体【50団体】

○体験ボランティア事業

点訳体験、自宅で点訳体験～点字のメニュー表を作ろう～ 参加者9名

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234

- 保育園・幼稚園との連携
 体験・見学等の体験学習実施 5件【16件】
- 小中学校との連携
 体験・見学等の体験学習実施 2件【11件】
- 地域との連携
 体験学習の実施（狛江少年消防団） 1件【0件】

⑤ネットワーク・マッチング

- 団体向け講座
 - ・「市民活動に役立つスマホの操作（第1回）」（10/19） 参加者 8名
 - ・「市民活動に役立つスマホの操作（第2回）」（10/26） 参加者 6名
- ごはんと居場所連絡会の支援 会議6回【会議6回】
- 視覚障がい者関連団体連絡会（オレンジ会） 会議1回【会議2回】
- 北多摩南部ブロック5市ボランティア・市民活動センター共催事業
 - ・共催事業「オンラインで学ぶ食物アレルギー対応の炊き出し」（11/26）

⑥関係機関との連携

- 介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会 4回【6回】
- 共同研究
 東京ボランティア・市民活動センター市民学習コーディネーター推進事業共同研究
 市民学習コーディネーター会議 3回【4回】
 市民学習コーディネーター推進事業報告会事例発表
- 狛江市地域学校協働活動推進委員会 1回

⑦その他

- 運営委員会 3回（うち書面開催2回）【5回】
- 専門部会
 - ・広報部会 ※センターが発行する広報誌「こまえがお」の編集を行う専門部会
 活動者 7名【14名】
 編集会議 14回【20回】
 - ・ホームページ部会 ※センターのホームページの活用を推進していくための専門部会
 活動者5名【5名】
 会議 7回【10回】
 ホームページ利用勉強会第1回（10/15） 参加者 8団体9名
 ホームページ利用勉強会第2回（11/5） 参加者 6団体8名
 - ・体験学習部会 ※体験学習プログラムを検討し推進していく専門部会
 活動者7名【5名】
 会議15回（動画撮影、語り部会議含む）【12回】
 体験学習動画作成「視覚障がいについてのいろいろを学ぼう（約10分 4講座）」
 体験学習動画作成「聴覚障がいについてのいろいろを学ぼう（約10分 4講座）」
 多摩川決壊の語り部動画制作「1974年多摩川水害の語り部（約10分）」
 体験学習部会市民講座「新学習指導要領説明会（2/21）」 参加者21名
- 活動場所情報掲載の打ち合わせ 2回（9/14、11/18）
- 開設5周年記念イベント実行委員会 1回（3/25）

地域福祉課相談支援係

地域包括支援センター ※市委託

○総合相談件数	延	3,959件	【3,982件】		
内エリア外対応	延	35件	【22件】		
○新規相談件数	延	159件	【165件】		
○月平均介護予防給付管理数		121件	【121件】	(自社作成分)	
		5件	【8件】	(居宅委託分)	
月平均介護予防ケアマネジメント数		82件	【83件】	(自社作成分)	
		5件	【8件】	(居宅委託分)	
○虐待対応	実件数	19件	対応数	132件	【実件数14件 対応数179件】
○権利擁護	実件数	48件	対応数	272件	【実件数34件 対応数388件】
※成年後見申し立て支援、消費者被害対応、困難事例対応（サービス拒否、多問題家族、経済的困窮等）を含む。					
○介護予防普及啓発事業		35回	【34回】		
内訳	運動	29回	【28回】	(あいとぴあセンター、西和泉二棟集会室、多摩川住宅イ号棟 集会所)	
ウォーキング講座		6回	【6回】		
○認知症サポーター養成講座		2回	【2回】		
○介護者の集い		9回	【11回】		
○ケアマネジャー支援	延	202件	【延165件】		
○民生委員との懇親会・定例会		1回	【4回】		
○家族介護者支援事業		1回	【2回】		
○実習生受入（慈恵第三看護専門学校）		0名	【6名】		
○実習生受入（慈恵医大看護学科）		4名	【16名】		

＜機能強化型＞ ※市内の地域包括支援センターを総括し、総合的に支援するために平成28年度に設置。地域ケア会議の開催支援、人材育成等の機能がある。令和2年度で終了。

○相談件数	延	36件（実12名）	【延 214件（実51名）】		
○後方支援	延	5件（実2名）	【延 9件（実6名）】		
○直接介入	延	27件（実10名）	【延 137件（実36名）】		
○研修主催		3回	【8回】		
○ネットワーク構築支援	延	29件	【延 99件】		
○地域ケア会議（個別ケア会議）		1件	【3件】		

あんしん泊江 ※東社協委託・市委託

地域福祉権利擁護事業 ※東社協委託

①専門員配置数					2名【2名】
②生活支援員登録者数					12名【13名】
③契約者数	新規契約件数				9件【7件】
	解約件数				9件【10件】
	契約件数（3月末）				56件【56件】
④相談件数（問い合わせ・継続相談等）					2,558件【1,841件】
⑤契約に基づく支援件数					1,196件【1,467件】

地域福祉課相談支援係

あんしん狛江 ※東社協委託・市委託

福祉サービス総合支援事業 ※狛江市委託

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| ①業務担当者配置数 | 1名【1名】 |
| ②利用者サポート事業 | |
| ○福祉サービスの利用に際しての苦情対応 | 0件【2件】 |
| ○成年後見制度の利用相談 | 1,951件【1,219件】 |
| ※内、申立支援相談は336件【356件】※実人数35名 | |
| ○その他福祉サービスに関する専門的な相談 | 286件【315件】 |
| ③福祉サービス利用援助事業 | |
| ○対象拡大契約件数 | 4件【4件】 |
| ○対象拡大支援件数 | 34件【41件】 |
| ○減免対象者の支援件数 | 54件【73件】 |
| ④苦情対応専門相談の設置 | |
| ○弁護士による専門相談 | 19件【20件】 |
| ⑤あんしん狛江運営委員会 | |
| | 3回【4回】 |

生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託

- | | | | | | |
|------------------|------|------------|--------|----------|--|
| ①相談件数 | 266件 | | 【638件】 | | |
| ○新規貸付相談 | 17件 | | 【111件】 | | |
| ○継続貸付相談 | 160件 | | 【292件】 | | |
| ○償還関係 | 88件 | | 【194件】 | | |
| ○その他 | 1件 | | 【41件】 | | |
| ②貸付決定件数・金額 | | | | | |
| ○福祉資金 | 1件 | 1,410,000円 | 【2件 | 91,000円】 | |
| ・福祉費 | 0件 | 0円 | 【1件 | 41,000円】 | |
| ・教育支援資金 | 1件 | 1,410,000円 | 【0件 | 0円】 | |
| ・緊急小口資金 | 0件 | 0円 | 【1件 | 50,000円】 | |
| ○総合支援資金 | 0件 | 0円 | 【0件 | 0円】 | |
| ・生活支援費 | 0件 | 0円 | 【0件 | 0円】 | |
| ・住宅入居費 | 0件 | 0円 | 【0件 | 0円】 | |
| ・一時生活再建費 | 0件 | 0円 | 【0件 | 0円】 | |
| ○要保護向け不動産担保型生活資金 | 0件 | 0円 | 【0件 | 0円】 | |

<新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付>

- | | | |
|-------------------|--------|--------|
| ①相談件数 | 5,403件 | 【130件】 |
| ②貸付申請件数 | | |
| ○緊急小口資金（特例貸付） | 1,067件 | 【12件】 |
| ○総合支援資金（特例貸付） | 776件 | 【新規】 |
| ○総合支援資金（特例貸付）延長貸付 | 475件 | 【新規】 |

課・係	事業内容	【 】は平成31年度実績
地域福祉課相談支援係		
生活支援体制整備事業 ※市委託		
⑦協議体「生活支援体制整備協議会」 ○第1回 3/15 オンライン会議	1回【2回】 出席者 11名	
⑧介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会	5回【4回】	
電話訪問活動支援 ※「狛江電話訪問はとの会」が行う、高齢者見守り活動を支援		
緊急事態宣言の発令期間中は電話訪問活動を休止した。また、公開講座（年1回実施）も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しなかった。		
心身障害児（者）緊急一時保護事業 ※市委託		
○実施件数 介護形態別内訳 ○利用登録者 障がい別内訳 ○登録介護人 ○登録介護協力施設 (社会福祉法人光友会ひかり作業所、NPO法人ハッピーライフフォーエバー、NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」、NPO法人アビリティクラブたすけあい狛江たすけあいワーカーズなかよし)	191件【438件】 登録介護人によるもの 181件【426件】 協力施設によるもの 10件【12件】 59名【56名】 身体障がい 9名【9名】 知的障がい 30名【28名】 精神障がい 3名【3名】 重複障がい 17名【16名】 難病 0名【0名】 44名【41名】 4か所【4か所】	
ホームヘルプサービス事業		
①登録訪問介護員等 ホームヘルパー 13名【14名】 ○ヘルパー会議 7回【9回】 ②総合事業 ○利用者数 延 333名【277名】 ○サービス提供件数 延 1,520件【1,286件】 ○サービス提供時間 延 1,430時間【1,250時間】 ③認定ヘルパー養成研修(市委託) ○実施期間 10/19~10/21 修了者数 11名【2クール 17名】 ○実施期間 2/16~2/18 修了者数 6名	認定ヘルパー 5名【3名】	
居宅介護支援事業		
介護支援専門員 2名【2名】 ○月平均給付管理者数 ○認定調査受託 ○東京慈恵会医科大学医学部看護学科実習生受け入れ	61名【50名】 0件【18件】 4名 1日間【16名 16日間】	

サービス事業課障がい支援係

障害者福祉センター ※市委託

- ①療育相談（令和2年4月にて事業終了）
- 開設日数 0日【24日】
 - 相談件数 0件【延44件】
- ②歯科相談
- 開設日数 4日【4日】
 - 相談件数 延 74件【延116件】
 - 相談員 狛江市歯科医師会歯科医
（塩谷達昭氏、島田陽一郎氏、島野清二郎氏）
歯科衛生士（富士松さゆり氏、松原かずみ氏）
 - はみがき講習会 実施回数 0回【4回】 参加者数 延0名【延52名】
 - ブラッシング指導 実施回数 0回【19回】 参加者数 延0名【延234名】

障害者地域自立生活支援センター サポート ※市委託

※（ ）内はピアカウンセリング件数

- ①支援延べ件数
- | | | |
|-------------------|------------|--------------|
| | 3,743件 | 【2,982件】 |
| ○福祉サービスの利用等に関する支援 | 2,015(19)件 | 【1,700(50)件】 |
| ○障がいや病状の理解に関する支援 | 198(130)件 | 【96(1)件】 |
| ○健康・医療に関する支援 | 246(4)件 | 【121(10)件】 |
| ○不安の解消・情緒安定に関する支援 | 390(214)件 | 【240(9)件】 |
| ○保育・教育に関する支援 | 39(0)件 | 【59(0)件】 |
| ○家族関係・人間関係に関する支援 | 84(7)件 | 【35(2)件】 |
| ○家計・経済に関する支援 | 54(1)件 | 【33(0)件】 |
| ○生活技術に関する支援 | 54(0)件 | 【31(4)件】 |
| ○就労に関する支援 | 83(0)件 | 【40(0)件】 |
| ○社会参加・余暇活動に関する支援 | 55(7)件 | 【51(18)件】 |
| ○権利擁護に関する支援 | 0(0)件 | 【1(0)件】 |
| ○その他 | 525(204)件 | 【575(147)件】 |
| ※ピアカウンセリング件数合計 | 586件 | 【241件】 |
- ②フリースペース 20回（延124名）【20回 延116名】
- ③自立生活向上プログラム
- 障がい者料理教室「まいう～」※協力 狛江栄養士会
1回 参加者 2名【4回 延24名】
 - 対人関係学習会 家族・支援者向け講座
「素敵な大人になるために」 1回 参加者9名【1回31名】
 - 対人関係学習会 当事者向け講座(出前講座) ※協力 劇団グスタフ
「対人関係をよくするために」(会場：こまえ工房) 1回 参加者10名【1回12名】
 - 対人関係学習会 当事者向け講座(あいとぴあセンター) ※協力 劇団グスタフ
「素敵な大人になるために」 1回 参加者10名【1回 6名】
 - 自立生活プログラム(当事者向け) 5回 参加者実3名延14名【5回実4名延17名】
- ④しゃべり場 0回 参加者0名【2回 参加者5名】

サービス事業課障がい支援係

障害者地域自立生活支援センター サポート ※市委託

- ⑤うまいもの市 (10/27、10/28) 実行委員会 5回 参加7団体【委員会5回8団体】

- ⑥関係機関等の事業・会議への参画
 - ふれあいサロン「夢一」運営委員会 (平成31年度で終了) 0回【3回】
 - 拡大防災ネット会議 0回【1回】

- ⑦狛江市地域自立支援協議会への参画
 - 狛江市地域自立支援協議会 全体会 2回【3回】
 - 狛江市地域自立支援協議会 定例会 2回【3回】
 - 狛江市地域自立支援協議会 当事者部会役員会 8回【15回】
 - 狛江市地域自立支援協議会 当事者部会 イベント 1回【1回】

障がい者就労支援センター サポート ※市委託

- ①就労支援登録者 215名 (就労中101名 うち新規就労20名) 【215名 うち就労中118名】
 - 相談支援件数
 - <就労支援>
 - ・ 職業相談 延1,246件【延1,503件】
 - ・ 就職準備支援 延 306件【延203件】
 - ・ 職場開拓件数 延 107件【延46件】
 - ・ 職場実習 延 28件【延75件】
 - ・ 職場定着支援 延1,639件【延1,823件】
 - ・ 離職支援 延 20件【延48件】
 - <生活支援>
 - ・ 日常生活支援 延 248件【延602件】
 - ・ 安心して職業生活を続けられるための支援 延 99件【延202件】
 - ・ 豊かな社会生活を築く為の支援 延 197件【延14件】
 - ・ 将来設計相談 延 1件【延0件】
 - <訓練等実績>
 - ・ 委託訓練 延 0件【延0件】
 - ・ 職場実習 延 7件【延3件】
 - <職場体験実習>
 - ・ 狛江市役所職場体験実習
 - 第1回 0日間 (実習生0名)
 - 【第1回 10/9～10/11、10/16～10/18 6日間 (実習生1名)】
 - 第2回 11/4～11/6、11/11～11/13 6日間 (実習生2名)
 - 【第2回 11/6～11/8、11/13～11/15 6日間 (実習生2名)】
 - 第3回 0日間 (実習生0名)
 - 【第3回 2/5～2/7、2/12～2/14 6日間 (実習生2名)】

- ②関係機関情報交換会 2回【2回】
 - 障がい者就労支援情報交換会
 - (参加機関) ひかり作業所、こまえ工房、ワークイン・メイ、パサパ、ワークひなた
狛江市福祉保健部高齢障がい課、ハローワーク府中

サービス事業課障がい支援係

障がい者就労支援センター サポート ※市委託

③関係機関会議等

- 東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 1回【2回】
- 多摩地域就労支援事業実施団体連絡会議 1回【2回】
- 障害者雇用連絡会議 2回【2回】
- 精神障害者就労支援定着連絡会 1回【0回】

④講演会・セミナー

<ミニ講演会>

- 就労促進ミニ講演会「1次面接を突破するマナー（10/30）知的向け」参加者3名【3名】
講師：株式会社CQ 山本浩子氏
- 就労促進ミニ講演会「就労のためのアドバイス（11/6）精神向け」参加者8名【7名】
講師：橋本幸雄氏（社会保険労務士）
- 就労促進ミニ講演会「ビジネスマナーの基本（11/13）精神向け」参加者 8名【6名】
講師：株式会社CQ 山本浩子氏

<障がい者就労理解を促進するための市民向け講演会>

- 障がい者就労促進講演会（3/11）参加者 10名 【0名】
講師：都立青峰学園教諭、都立府中けやきの森学園教諭

<障がい者就労促進講演会>

- 障がい者就労促進講演会（3/8）&職場見学会（3/16）参加者 0名【0名】
講師：みずほビジネス・チャレンジド株式会社 職場定着支援ご担当者
見学先：みずほビジネス・チャレンジド株式会社（町田事業所）

<就労アカデミー>

- 精神障がい対象 2回 参加者 延12名 【0回】
- 知的障がい対象 2回 参加者 延 1名 【0回】

⑤地域開拓促進コーディネート

○個別相談支援件数

- ・ 就労相談 延 54件【延 31件】
- ・ 職場開拓件数 延 77件【延 9件】
- ・ 登録者の職場定着支援 延 96件【延142件】

○就職希望者、企業の掘り起し

- ・ 企業訪問件数 延 32件【延105件】
- ・ 福祉施設訪問件数 延 306件【延346件】
- ・ 見学会等への参加 4社【40社】

○利用契約者人数（3月末）

- 特定相談 147名【133名】
- 児童計画相談 49名【59名】

○サービス等利用計画作成件数

- 特定相談 108件【97件】
- 児童計画相談 66件【79件】

○モニタリング件数

- 特定相談 345件【300件】
- 児童計画相談 164件【223件】

○相談支援事業所連絡会への参加

- 14回【21回】

特定相談支援事業

○利用契約者人数（3月末）

- 特定相談 147名【133名】
- 児童計画相談 49名【59名】

サービス事業課障がい支援係

特定相談支援事業

○サービス等利用計画作成件数	特定相談	108件【97件】
	児童計画相談	66件【79件】
○モニタリング件数	特定相談	345件【300件】
	児童計画相談	164件【223件】
○相談支援事業所連絡会への参加		14回【21回】

サービス事業課早期療育係

あいとぴあ子ども発達教室 “ぱる”

4/9から5/25まで休所。6/4～6/25まで各グループを二つに分けた分散通所。
7/20からプール療育、児童のみへの給食提供を開始。

○電話・メール対応件数		延182件【0件】
○卒業児童保護者（令和2年度卒業）電話・メール対応件数（実数）		12件【0件】
○専門職（理学、作業、言語）による電話相談件数		延11件【0件】
○ミニぱる利用件数		延21件【0件】

親子1組40分程度（1日3組の予約制）の遊びを中心としたプログラムと保護者相談

○開所日数 170日【180日】 ※集団・プール療育実施回数 269回【345回】

※グループの内訳は以下の通り

月、火、水、木（午前・午後）、金プール（A・Bグループ）

○通所児童	定員 80名（10名×8グループ）	80名【80名】
	実利用人数	54名【74名】
	通所人数（グループ・プール）	延1,299名【延1,769名】
○新規利用開始児童		12名【22名】
○個別指導		延217名【延487名】
	内訳：言語指導	延91名【128名】、理学療法
		延53名【86名】、作業療法
		延73名【126名】
○外出プログラム（西河原公園）	11回	延44組【14回 83組】
○ペアレントトレーニング	24回	延118名【11回 延55名】
○心理相談（心理職による保護者支援）	7回	延7名【4回 延16名】
○保護者面談		延15名【11名】
○保護者相談（電話相談含）		延36名【11名】
○保護者参観日（参観週間として実施）	12回	27名【16回 93名】
○避難訓練	16回	63組【15回 91組】
○遠足	0回	0組【1回 10組】
○保護者会	8回（卒業式・修了式・グループ最終日）	【16回】
○卒業式	3回	21組【5回 21組】
○個人面談	77回	【94回】
○卒業面談	16回	【21回】
○終了面談	12名	【4名】
○初回面談	11回	【22回】
○幼稚園訪問	2回	【4回】
	内訳：染地幼稚園、子鹿幼稚園	
○保育園訪問	2回	【2回】
	内訳：駒井町みんなの家（2回）	
○関係機関会議	7回	【3回】

サービス事業課早期療育係

あいとぴあ子ども発達教室 “ぱる”

○専門職会議	3回	【3回】
○全体カンファレンス	2回	【3回】
○スタッフ研修	3回	【4回】
○プール指導	3回	【5回】
○給食会議	12回	【12回】
○見学受入れ	利用希望者 13名	【延37名】
	利用児保護者 3名	【8名】
	関係機関 3名	【12名】
○実習生受入れ	延 5名	【延32名】
○関係機関情報共有	延77名	【延16名】
○市民・関係機関からの発達相談	5件	【62件】
○就学支援会議	0回	【1回】
○JASPER	0回 0名	【31回 延210名】

サービス事業課知的障がい者通所訓練係

生活介護事業 麦の穂

○利用者	15名 延3,042名	【14名 延2,769名】
○保護者会	0回	【10回】
○個別面談	6日間	【6日間】
○行事	0回	【11回】
○宿泊活動	0回	【1回】
○クラブ活動	0回	【15回】
○ケース会議	9回（毎月1回実施）	【12回】
○利用者定期健康診断	0回	【1回】
○嘱託医相談	7回	【11回】
○調理活動	0回	【21回】
○体育館活動	6回（毎月1回実施）	【11回】
○3B体操	3回（毎月1回実施）	【11回】
○避難訓練	2回（8/13、1/28）	【2回】
○専門指導	言語療法	0回【3回】
	作業療法	1回【2回】
	音楽療法	2回【4回】
	織り	2回【3回】
	造形	2回【2回】
	スーパービジョン	3回【4回】
○歯磨き指導		0回【3回】
○歯科相談		2回【2回】
○実習生受入れ		1名【1名】

課・係	事業内容	【 】は平成31年度実績
プロジェクトチーム等		
広報活動推進プロジェクトチーム		
	<p>②マスコットキャラクター出演 なし 【民生委員・児童委員活動普及駅頭PR(5/15)】 【会員事業駅頭PR(7/1、2、3)】 【赤い羽根共同募金運動街頭募金(10/1)】 【市民まつり(11/17)】 【歳末たすけあい運動街頭募金(12/2、12/20)】</p> <p>③市民まつりへの参加 なし 【11/17】</p>	
その他		
狛江市社会福祉法人連絡会への参画		
	<p>平成29年度に発足し、市内6つの社会福祉法人が加盟。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉なんでも相談 福祉に関する相談窓口を開設した。 ○フードドライブ事業への協力 加盟法人(1/6~1/20)で回収した食品をフードバンク狛江に寄贈した。 	

